処北松西高だより

e-mail: hokushounishi-h@news.ed.jp HP: http://www2.news.ed.jp/section/hokushounish



『幸福度を下げるのは』

校長 井上 潤一郎

ここ数年本を読む量がめっきり減りました。国語の教員になるく らいですから元々本が好きで、2,3時間は平気で集中できていたの ですが、最近はすぐに疲れてしまって、1章分でさえなかなか読み 通すことができません。ああもう年だなあと思ってあきらめていた のですが、最近アンデシュ・ハンセンという人の「スマホ脳」とい う本を読みました。その中にはスマホの依存性が極めて高く、人間 の集中力を奪い、作業効率を著しく低下させるということが書かれ てありました。なんと電源を切ってポケットに入れているだけでも 気が散って作業量が低下するそうです。そういえば本の代わりに私 が始終手を伸ばすのもスマホです。自分も立派なスマホ依存だと思 いました。もっと恐ろしいのはSNSを使えば使うほどに孤独にな るという記述でした。5千人以上を対象にした実験では「現実(リ アル)に」人に会えば会うほど幸福度が増す一方で、SNSに時間 を割けば割くほど幸福度が下がるという結果が出ています。世界中 から発信されるインスタグラムなどの画像と自分を比較して自分を 下層に位置づけてしまうのが原因なのだとか。狩猟採集民として数

十万年を生きてきた人間の脳はデジタ ル社会に適応できていないというのが作者 の結論です。

コロナ禍で人と会う機会が減りました。 生徒の皆さんのスマホ使用の頻度も増えて いるかもしれません。ここ数年本校生の読 書量が減っているのも気になるところで す。めでたく卒業を迎える皆さん、そして 在校生の皆さん、心の健康と幸福な未来の ため、スマホを少し手放して、本に親しん でみませんか?



"じるべんをたれかとくらべることだね"

『ぼく モグラ キツネ 馬』より 図書館にあります。

社会の未来のために~主権者教育

2月8日(火)に第2回主権者教育 を実施しました。1年生は「若い世代 の投票率が低い理由・どうすれば若者 が投票に行くのか」2年生は「小学生 になぜ選挙に行かないといけないのと 聞かれたら、どう答えるのか」という 発問を軸に友人と話し合い、政治に参 加する意義について考えました。





第11号 令和4年2月25日発行

▲7日の仁東又中▲

◆3月の行事予定◆		
В	曜	行 事 予 定
1	火	第 67 回卒業証書授与式
2	水	
3	木	
4	金	
5	±	
6	В	
7	月	後期選抜設営
8	火	後期選抜①(生徒登校禁止)
9	水	後期選抜②(生徒登校禁止)
10	木	復元作業 45 分短縮授業
11	金	生徒個人写真撮影
12	土	国公立大学後期試験
13	В	
14	月	⑦カット6コマ日課
15	火	45 分短縮授業 進路体験発表会
16	水	合格発表
17	木	掃除⑦カット6コマ日課 SSW 来校 11:30~16:30
18	金	
19	土	[ソフテニ]個人選抜
20	В	
21	月	春分の日
22	火	
23	水	(午前)球技大会 (午後)合格者オリエンテーション
24	木	修了式・離任式
25	金	
26	土	
27		
28	月	新 2・3 年生教材購入期間(~30 日) 通知表発送
29	火	
30	水	
31	木	

未来の自分のために~進路講演会

2月8日(火)に、1・2年生を対象とした進路講演会を実施しました。今年度は株式会社ベネッセコーポレーションの高岡祐太様から「進路実現に向けて今なすべきこと」と題し、オンライン形式で実施していただきました。「企業が求めている能力」、「志望校合格・不合格を分けた原因」などについて分かりやすく説明していただきました。生徒代表お礼の言葉では、2年生の山元佑太朗さんが「自分が将来何を学びたいのか、どういった職業に就きたいのかを早い時期に決めて、基礎基本を身につけられるよう日々頑張りたい」と述べました。



1月25日(火)に、体育の授業の一環として 持久走の記録会を実施しました。「同じトラックを 何度も回るので、島内を走るロードレースよりも かえって精神力が鍛えられた」とは生徒の弁。新 型コロナウイルス流行のため本校グラウンドの周 回とし、男子は45周(9km)、女子は30周 (6km)を走りました。

終了後には、公民館や保護者の方々からのお弁 当・飲み物などの差し入れで労をねぎらいまし た。ありがとうございました!









一貫教育① いま、伝えられること~進路体験講話

2月3日(木)、高校3年生の進路決定者による進路体験講話を小値賀中学校で実施しました。進路決定にいたるまでのプロセスや頑張ったこと、中学校の時にしておくといいことなどについて、後輩の中学生に話しました。

自らの高校3年間を振り返り、後輩に伝えたいことを考えることで、これまでの学習の反省をすることもできました。また、自らの進路を真剣に考え、鋭い質問をしてくる中学生の姿を見て、高校生も刺激を受けました。







一貫教育② 高校の授業を体験!~つなぎ授業

2月21・22日に、中学3年生を対象に数学・英語のつなぎ授業を実施しました。数学は「高校数学と中学数学の違い」、英語は「喜怒哀楽・感情を表す英語で心理学」の内容で、中学生に高校での学習を一足早く体験してもらいました。